

友 和

NO.584

発行日 令和7年12月1日
発行 社会福祉法人 友和の里
〒738-0203
広島県廿日市市友田 218-38
TEL0829-74-2157 FAX0829-74-2154
HP: <http://yuuwanosato.com/>

発行者 常務理事 中村 真和

令和7年度友和の里まつりを終えて

11月9日の友和の里まつりは、一週間前の週間予報が見事的中しあいにくの雨、肌寒い一日となりました。前日夜から雨が降りはじめ時には大粒、時には霧雨と、準備にあたった職員も、来場された皆さまも大変だったことと思います。そのような中、開始の時間が近づくにつれ傘をさした多くの方々が会場へ足を運んでくださり、テント4張りの周りまで人でいっぱいになるほどにぎわいとなりました。式典では、松本廿日市市長、大崎廿日市市議会副議長、安井広島県議会議員、平口法務大臣秘書の白井様からお祝いの言葉を頂戴いたしました。他にも市議会議員、民生委員児童委員、行政関係者、本会役員等、多くのご来賓の皆さまに来場いただきました。株式会社スペースワーク様には、ご厚意により駐車場をお貸しいただきました。そのおかげで、来場された皆さまも職員も安心して自家用車で来場することができ、大変助かりました。日ごろから、多くの皆さまに支えていただいていることをあらためて実感いたしました。心から感謝申し上げます。

プログラムは、友和の里の利用者の皆さんによるステージ発表でスタートしました。利用者の皆さんが日々練習を続け、それを職員が支え、得意なところを持ち寄って作り上げた作品には胸を打たれました。終わったあとの充実と安堵の顔は「やりとげた！」という気持ちが表れていたようでした。続く地元の保育園、万勝太鼓、ダンスクラブ、フラダンスの皆さんのステージで一層の盛り上がりに、会場全体が明るくなりました。会場内にはいたるところに利用者のアート作品が展示されました。積み重ねた想いが乗った作品は、皆様の心に届いたのではないかと思います。また、近隣の福祉施設やボランティアグループの皆さんにも、多くのご協力をいただきました。ブースの出店や運営面でのサポートなど、それぞれが力を合わせてくださったおかげで、まつり全体がスムーズに進み、安心感のある行事となりました。ステージの中盤には大変ご多用の中にも関わらず、平口法務大臣の令夫人がお越しください、お祝いのお言葉で花を添えていただきました。お昼過ぎにひととき雨が止み、用意されていた食べ物がすべて売り切れたことを知って、盛会であったことに気付かされました。前後一週間、まつりの開催時間帯だけが雨に見舞われましたが、肌寒い1日の中でこそ沢山のご支援、ご協力の温かさと心強さを実感させていただく1日になりました。来年こそは、「秋晴れ」の友和の里まつりでお会いできるのを楽しみにしながら、元気に冬を越していきたいと思います。

(友和の里まつり実行委員長 常務理事 中村真和)



ウェルカムゲートでお出迎えする
ハッピーキュンと畠の収穫物

しあわせ
ハピネス全開
ぜんかい
友和の里まつり



特集

ハピネス全開 友和の里まつり

11月9日（日）雨ふりの開催となりましたが、たくさんの方に来場して頂きました。

まつりはどうでしたか

来場者アンケートより

絵が良かつた！

雨の中、皆さん大変盛り上げて感激しました。施設利用者の歌やダンスは、いつも見ていて癒されますし、利用者家族としては違う一面が見られて嬉しいです。

職員の方たちが皆さん笑顔で利用者の方に寄り添つておられたのが印象的でした。

園児の歌やダンス、太鼓、くじ、作品展示などトルネードポテトとてもおいしかったです！

職員さんも皆さん感じが良く、気を常に配られてさすがだなと感じました。

控え室があつてよかったです。

利用者の歌と踊り。

中止にならなくてよかったです。唐揚げが初めて食べたけど、美味しいです。

雨であったものの、太鼓など地域の方がたの出し物やお店も色々と準備していただきてよかったです。室内では、机や椅子、ソファーなど用意していただき、くつろげました。職員さんも、よく気にかけていただき、ありがとうございました。

利用者の皆さん発表は、笑顔で楽しそうな雰囲気が伝わってきて思わず手拍子で応援しました。毎年参加しますが、初めて熱あつ焼き芋をゲットすることができました。甘くてとっても美味しいかったです。

自分の担当する利用者さんの特性で、動きの活発な方には、一日中、担当職員さんが利用者の動きを見失わないように、ずっと走つてついて対応されるのを見て、大変だと痛感しました。職員さんの休憩時間の確保等、工夫されていくと思いますが、雨天でもテントの中で最後まで参加された事、懸命行動されていた姿。保護者や家族の方がたが、一生懸命でしょうか？

雨がさえんかったですね。

テントの完備が必要では、と思いました

雨天等でプログラム変更がある場合、コピー用紙に手書きなど簡易的で良いので、目に見える形で目立つところに掲示して頂けると助かります。（保護者高齢化による難聴の為）

広島ひかり園さんのアートが残念でした。やうやくの利用者さんの作品もハンカチやキーホルダーなどの商品になつたら良いなと思います。全部芝生になつて欲しい。

神楽が中止で残念 仕方がないですね。

利用者の皆さん「絵」の展示室に行きました。1人1人の自由な発想が面白くて魅入ってしまいました。額縁のある絵はいっそう魅力でした。額縁を全員の方に提供してあげたいと感じました。それと、部屋がわかりにくいのが、観覧者は私一人でちょっと寂しかったです。

保護者の声（連絡帳より）

おまつりに参加させていただきありがとうございました。地域と共に発展されている友和の里さんに通わせていただけていることを改めてありがとうございました。あいにくの雨でしたが和やかなおまつりで、職員さんにもたくさん温かい声をかけていただきとても癒される一日でした。

職員の声（司会担当）

当日は天候の関係もあり、原稿の変更が多く緊張感がありました。何事もなく無事に終わって良かったです。それなりに楽しくさせていただきました。





おいしかったまつり



毎年おまつりでは、利用者のみなさんが屋台のフードをとっても楽しみにされていると聞きました。そこで実行委員会では、チラシや会場マップに利用者が描いたイラストを使用してまつりをより楽しめる手がかりにしようと考えました。人気の焼き芋、からあげ、みなさんお腹いっぱいになったかな。



職員の声（受付担当）

ジャンケン抽選会がもり上がっていて、景品がいいとお客様が喜ばれていました。

おのしかったまつり



キャリアスタート！ カタリバミニ 2025

市民センター主催の中学生の進路応援企画が

廿日市市立佐伯中学校でありました。11/6（木）に登壇しカタリ手となった平田さんに聞きました。

偶然、当時担任だった先生に再会して驚きました。佐伯中は昔と比べて生徒数が減っていて、体育館が広く感じたことと、生徒さん達がすごく静かな印象を受けました。車座になってからの小グループの中で、生徒さんから出た質問は「仕事のやりがいは何ですか？」「どんな事が1番しんどいですか？」などの質問でした。他にも筋トレに関する質問をしてくれたり給食は何が1番好きですか？と質問してくれる生徒さんもいて楽しく応答する事ができました。（職員 平田譲一）

中学生が将来へのヒントをみつけるためのこの企画、福祉に興味をもってもらえるチャンスとなるといいですね。当日、平田さんの隣に座つて、サポートをしてくれた市民センター



の職員の方にカタリバミニ 2025について教えていただきました。

カタリバミニは佐伯中学生3年生の職業体験のための教育企画です。今年で5回目。初回はコロナ中の開催でした。廿日市市佐伯地域の4つの市民センターが企画して中学校と協力して実施しています。毎回、佐伯中学校OB・OGの4名を語り手として招き自分がこの仕事を選んだ理由や仕事の良いところ、地元への想いを熱く語っていただいている。今回は特定非営利活動法人キッズNPO理事長の吉本卓生さん、まさき農園正木彬さん、ジブンステップの大垣幸子さん、社会福祉法人友和の里 友和の里入所部 生活支援員 平田譲一さんの4名をお招きしました

入所部の平田譲一さんは、さいき暮らしの良さや仕事の楽しさを語っていただきました。発表後は登壇者と3年生のみんなで4つの車座になり、生徒さんのざっくばらんな質問に語り手が答え、自慢の筋肉を披露する一幕もありました！（あさはらまちづくり交流センター職員 西本智詞）

施工前
整地したところ



と、イエーイ。
姿の工事関係者の方
ゲットしたお餅をもつ
て記念撮影！ヘルメッ
ト

と
なぞ

ハピネスゆうわ 棟上げ式

11月21日（金）『ハピネスゆうわ』の棟上げ式が行われました。3つ目の共同生活援助事業所が建築中です。お天気にも恵まれ、大工さんにお餅をまいて頂きました。グループホームの皆さんでウキウキしながら受取りました。工事が進んでいる様子ちらりと見学することができました。3月完成予定となっており、楽しみです。

（部長 川久保貴子）

こうしょぶ にちゅうかいつど
通戸所部 | 日中活動班より



とうげいはん
陶芸班

友和の里まつりではたくさんの方に陶芸班の作品を購入していただきました。利用者の皆さんと一緒に作った置物を「かわいい！」と言っていただいたり、干支の置物も「立派だね！」等と嬉しいお言葉をいただきました。今後も皆さんから愛される作品を作っていくますのでよろしくお願ひします。 (生活支援員 朝川泰貴)

そうさくはん
創作班

今回は、松浦暢さんとウエスの納品に行きました。暢さんに“一緒に納品に行ってもらえますか？”と問うと「うん！行くよ！」と元気よく返事をしてくれました。その後は、納品するウエスを積極的に車に積み下ろしされ、納品先では『納品請求書』を納品先の職員さんに渡してくれました。頑張って作成したウエスが納品される様子を見て「すごいね！！」と興味深く観察されていました。一生懸命に納品される暢さんの素敵的一面が見れた一日でした。

(主任生活支援員 山田憲志)

かいとお はん
貝通し班

一気に気温が下がり、冬の空気になってきました。貝通し班の皆さんは、安定したペースで作業に取り組んでおられます。この調子で、無理なく穏やかに活動していきたいと思います。

(生活支援員 冠茜)

りょういくはん
療育班

作業室1での自立課題にそれぞれ皆さん取り組んでおられ、特性にあった課題をされています。パズルや型はめ、キャップ入れ、ゴム入れなど様々な課題の中から得意なものを選んで取り組んでいただいている。

(生活支援員 濱田吉弘)

しょくいんインター

今月は畑にできたメダカハウスについて朝川泰貴さんに話を聞きました。

Q メダカハウスって？

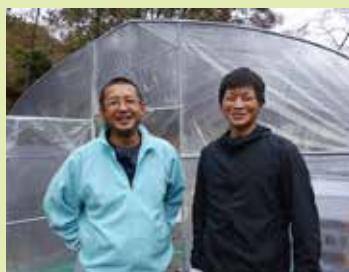
友和の里にビニールハウスを建てました。メダカのためのハウスです。中にメダカの入った水槽をおいて、これから集中ろ過システムを作つて設置していく予定です。

Q どうしてメダカ？

きっかけは職員からメダカをもらつたことです。家で子どもとメダカを育てていました。子どものためだつたのですが、そのうち僕がはまつたんです。メダカを飼う楽しさを知りました。特に、ちゃんと生きて繁殖して増えるのが面白い。最初6匹だつたのが半年後には50匹になっていました。同じくメダカが好きな職員がいて、メダカの話をしていくうちに友和の里でも通年で飼育できないかとイメージが膨らんでいきました。

Q これからの活用イメージは？

利用者さんにメダカを楽しんでもほしいと思っています。いろんな楽しみ方があると思うので、眺める人、エサやりをする人、水を触りたい人、めだかをくいたい人もいていいと思っています。友和の里での昼間の活動の中にメダカという選択肢が増えていければいい。日中活動棟では室内でメダカの入った水槽を置いていて、それをじっと見ている利用者さんがいて、うれしいなあと思っています。



二人で建てたビニールハウスの前で
三宅さん（左）と朝川さん（右）

トピックアート

入選作品 2 点を見にいきました 【あいサポートアート展】

10/28～11/2 広島県立美術館であいサポートアート展が開催されました。今回 6 名の利用者さんが応募し、下崎さんと佐藤さんの絵が入選いたしました。10/30 に応募した 6 名の利用者さんと一緒にあいサポートアート展に行ってきました。会場で下崎さんと佐藤さんの絵を見つけると、さっそく記念撮影！！少し照れながらも作品と一緒に写真を撮りました。その後は、皆さんからのリクエストがあったマクドナルドで昼食をとりました。ハンバーガーのセットだけでなく、マカロンやケーキまたソフトクリームなどデザートも食べました。店内では来年のあいサポートアート展の話で盛り上りました。

(主任 甲斐 真由美)



左：下崎さん、右：佐藤さん、作品の前で撮影

入店して観覧できます 【ダイハツ大竹店にて作品展示】

10/24 ダイハツ広島販売大竹店に絵の入れ替えに行ってきました。10月～12月は井町裕子さんの絵が展示されております。
(主任 甲斐 真由美)



作品展示には井町さん本人も一緒に行って作業を見学。みなさんも、ぜひ、お近くに行かれたら観に行かれてくださいね。

入所部、余暇活動の支援 【日曜日のワッキング】



入所部の日曜日の余暇支援の一つでワッキングを行っています。料理が得意な利用者が自分でメニューを決めて、買い物に行って調理をします。簡単な物ですけど自分で食べたいものを選んで買ってきて自分で料理をします。意思決定支援に繋がる活動となり、本人も楽しまれています。買い物に行ったり料理することで利用者のストレス発散にもつながっています。そして職員にとっては利用者さんの違った一面の発見になっています。今はまだレパートリーは少ないですがこれから増やしていきたいと思います。
(生活支援員 檜校 司)



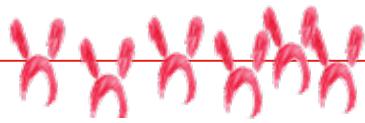
通所部 土曜開所日

【まつりを終えて・・・】

11月の開所日は『クリーンウォーキング』を行いました。友和の里駐車場、遊歩道、通所ホール前庭の3か所に分かれて、利用者の皆さんと職員が協力しながら清掃活動に取り組みました。皆さんで協力することで、普段は見逃しがちな汚れにも気づきやすくなり、今まで以上にきれいにすることができます。
(部長 乙原 亮)

落ち葉の季節、友和の里にはたくさん
の落ち葉が舞いながら降りつもります。
良いいい肥になあれ。





作画：沖貴代美
「チューリップ」

友和の里まつり、盛り上げました

【ステージ発表】

友和の里まつりのステージでは、通所部の利用者の皆さんでAKB48の『365日の紙飛行機』を披露しました。毎日ホールで音楽を流し、歌詞やメロディーに触れることで利用者の皆さんのが自然と興味を持ち、歌えるようになればと工夫をしました。歌の最後には紙飛行機をステージの上から客席に向かってなげる演出もして大成功。当日は練習の成果を存分に発揮し、笑顔をあふれるステージになりました。 (主任生活支援員 西川 厚)



それぞれ楽器もしくは紙飛行機をもってステージに上がっていました。同時に二つとももっていたのは三宅さん！

秋の味覚

【焼き芋パーティー】

11/1(土) グループホーム、フレンドホームで焼き芋パーティーを開催しました。午前中の準備段階から両ホームの利用者さんはソワソワしながら、窓から眺めていらっしゃいました。焼き芋機に火入れをし、友和の里で収穫したサツマイモを焼き芋機にセットして、しばらくすると甘い匂いに皆さん誘われていきました。熱々の焼き芋を前に、少し風にあたりながら旬の食材で季節を感じることが出来ました。「熱いよ！甘いよ！おいしいよ！」笑顔もあり両ホーム利用者間の交流も出来て、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

(生活支援員 木村 信広)

やきいも
やきいも
やきいも
やきいも



アーチェリーランドでの活動の様子

【秋はもみじを見ながら】

先日、フィールドアーチェリーを体験しました。「今日はフィールドに出ようっ！」とアーチェリーランドの戸野さんの号令で出発しました。いつものアーチェリーランドの平面の練習場から、隣接している山林の中でのアーチェリーを体験しました。お天気も良く、ちょうど見ごろを迎えたモミジが大変きれいでした。 (生活支援員 三宅 將)



スタッフジャケット！リニューアル

【制服が新しくなりました】

職員が着用している制服が紺色のジャケットになりました。新しい制服には白字で「社会福祉法人友和の里」と刺繡がしてあります。今までではスポーティな水色のジャージ素材でしたが、新しい制服は今時なポリエステル素材でシンプルスタイルです。これから寒くなるので、大活躍してくれると思います。みなさま、どうぞよろしくお願ひします。
(事務から) 沢山あるユニフォームの中から選びました。職員の皆さん気が持ちはよく温かく仕事ができるといいなと思います。



モデルになってくれた職員紹介

大下さん、永中さん、佐々木さん、竹内さん

12

ゆうわ さとぎょうじょてい 友和の里行事予定

12/5 金 アート活動 (入所)
12/6 土 体重測定 (GHFH)
12/9 火 お楽しみ会 (入所)
12/10 水 工賃支払日 (通所 / 入所)
12/10 水 体重測定 (入所)
12/12 金 夕食会 (GHFH)
12/16 火 レクリエーション (入所)
12/19 金 合同アート活動 (入所/通所)
12/19 金 体重測定 (通所)
12/20 土 土曜日開所日 (通所・入所)
12/23 火 夕食会 (入所)
12/26 金 大掃除の日 (入所 / 通所)
12/28 日 訪問美容 (GHFH)



12/27 ~ 1/4 年末年始のお休み (通所)

作品展示のご案内

【"や、〇〇じゅう展！】

友和の里の利用者3名の作品が展示されています。場所は福山市にある鞆の津ミュージアムです。11/15-12/14日までの開催です。うまい、へたといった枠から飛び出した、いろいろな表現に出会える展示となっています。どうぞ観覧に行かれてください。



いずみかおり
作画：泉花織

この絵は沖さんに「あなたも描きませんか」と声をかけて泉さんが描いたそうです。「人の顔に見えるよな」と浜先部長が見せてくださいました。普段活動の中で描く絵と違っていたので面白いなあとと思いました。

友和の里まつりのPRしてきましたー！

【FMはつかいち出演】

11/6 (木) 13時30分から13時40分までFMはつかいちにて友和の里まつりのPRをさせて頂きました。初めてのラジオ出演に少し緊張しながらもPRをする事が出来、ホッとしました。今年度の友和の里まつりにラジオを聴いて来場された方がいらっしゃれば良いな~と思いました。(生活支援員 永中 崇裕)

